



富小評価だより

令和5年9月22日 No.2
富岡市立富岡小学校

令和5年度第1回の学校評価アンケートの実施に際しまして、ご協力ありがとうございました。アンケートの集計ができましたのでお知らせいたします。学校では、成果と課題を明確にし、課題に対しては改善策を考え取り組んでまいります。また、皆様からいただきました貴重なご意見を2学期からの学校教育に活かしてまいります。今後もご支援、ご協力をお願いいたします。

令和5年度 学校評価一覧表

【教育目標の達成状況】

観点	評価項目	評価	観点	評価項目	評価	観点	評価項目	評価
みんな仲良く	相手や周りのことを考え言葉遣いができる	A	元気に運動	健康に気を付けて生活することができる	A	本気で勉強	将来の夢や志をもっている	B
	自分から進んで挨拶や返事ができる	B		進んで運動し体力を高めることができる	B		主体的に学習に取り組むことができる	B
	きまりを守って生活することができる	A		安全に気を付けて生活できる	A		基礎的な知識及び技能を習得している	A
	相手の気持ちが分かり、親切にできる	A		粘り強くやり抜くことができる	B		知識・技能を活用し課題を解決できる	B
	みんなで協力することができる	A						

【本年度の努力点についての評価】 ※評価の見方… A：十分に成果があった B：成果があった C：少しの成果があった D：成果がなかった

観点	評価項目	評価	成果と課題	2学期の方策
確かな向上学力の	ICT機器の効果的な活用により学びの充実と“FunGLISH”の積極的な取組によるコミュニケーション能力の育成を図り、確かな学力の向上を推進する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学年内、他学年とも相談を行い、系統性を意識したタブレットスキルチェック表を作成することができた。 ○FunGLISH caféの開催のより、コミュニケーション活動の機会を増やすことができた。 ●チェック表作成が主活動であったため、児童への活用が不十分であった。 ●タブレットスキルチェック表の家庭への周知が不十分であった。 ●保護者への周知・啓発が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したチェック表を児童へ配布し、チェック表を確認しながら、より効果的なタブレット活用につなげていく。 ・ICTの活用を呼びかけていく。 ・FunGLISH caféや英語での放送を2学期も継続していく。 ・HPを通じて、FunGLISHの取組を家庭・地域に発信していく。
豊かな心の育成	児童にとって居場所と規律のある学級づくりを心掛け、たくましさやさしさを兼ね備えた人間育成を実践する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の児童を多面的多角的に捉え、それぞれの児童が活躍できる場を設定し、主体性をもって諸活動に取り組みさせることができた。 ○「道徳科の評価スタンダード」を基に、学校行事と関連づけた授業を行うことができた。 ○なかよし月間を経て、日常生活の中で児童の思いやりのある言葉を増やすことができた。 ○家庭からも概ね満足な評価を得られた。 ○生活アンケートの内容をきちんと受け止め、学年間で情報を共有して対応を検討することができた。 ○心の教室相談員の効果的な活用ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・学級で情報共有をし、児童のよさを多角的・多面的に捉える。 ・引き続きスタンダードを基に授業を行っていく。 ・視覚的にわかりやすく、考えを深めやすいよう児童の実態に合わせたICT機器の活用をしていく。 ・日常的に児童の言動に目を配り、適切な言葉遣いや行動ができるよう呼びかけていく。 ・引き続き、後期もなかよし月間を行い、児童の人権に対する意識を高められるように指導していく。 ・生活支援委員会による教職員の共通理解の推進に努める。 ・SCの授業などを通して、相談しやすい体制を作る。
健やかな体の育成	児童の生命を守ることを第一とし、健康と安全は児童の健全な育成及び活動の充実の基盤であるという認識に立った取組を実践する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業を中心として、運動することの楽しさを味わうことができた。 ○新型コロナウイルスやインフルエンザ等、児童に多い感染症に対して全職員で感染症対策を徹底することができた。 ○交通少年団活動（交通安全運動期間の呼びかけ）や各学級での日頃からの積極的な指導により、大きな事故なく過ごすことができた。また、火災を想定した避難訓練を行い、避難の仕方や避難経路等の確認ができた。 ○年間を通して給食時間に全クラスを訪問し、発達段階に応じた系統的指導を行うことができた。 ●校庭や体育館の気温が高く、体育の授業を実施できないときがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き体育の授業を中心として、運動が好きになるような取組を進めていく。 ・教科や学級活動でのTTによる食育指導を進めていく。 ・様々な感染症に対して感受性対策としての面からも基本的な生活習慣の定着を図り、引き続き感染症対策に取り組んでいく。 ・実践力を身に付けるために、家庭と連携した引き渡し訓練、予告なしでの避難訓練を実施する。 ・日常的に自分の身は自分で守るよう、生活安全指導を繰り返す。 ・引き続き、定期的に交通安全について呼びかけていく。
学校経営の充実	校長の明確な方針に基づき、教職員が協働して職務を遂行する体制を構築し、社会情勢の急速な変化に対応した学校経営への転換を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期の学校評価を通して、学校課題を明確にすることができた。 ○各主任を中心に、計画的・組織的に取り組むことができ、情報共有・共通理解した上で課題に対応できた。 ○各学級担任の協力の下、授業時数の確保ができた。 ○職員各自が、自分の役割を意識し、協力して、スムーズな学校運営に携わることができていた。 ●学校の取組が家庭や地域と共有できるような情報発信のさらなる強化が必要である。 ●一人欠員があるため、事務処理や校務分掌に充てる時間の確保が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校評価の成果と課題を生かした学校課題の改善。 ・学校課題の共有と2学期の方策の着実な実施。 ・評価だよりを早期に配付し、取組の周知を図る。 ・経営方針や努力点に基づく、一人一人の役割の自覚。 ・各分掌による経営方針とリンクした目標達成に向けた実践。 ・見通しをもって、早め早めの対応に心掛け、相談・連絡・報告のプロセスを全職員で共有し、取り組んでいく。 ・合同研修、教室研修、夏季研修における実践研修を通し、さらなる指導力の向上。 ・個別の指導計画を活用し、個々の障害の状態に応じた指導の継続。
教職員の資質の向上	様々な教育課題に対応する資質能力の向上を図るため、校内研修では限定した内容のみを扱うのではなく、バランスの取れた教職員の職能成長を図る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職による授業参観が定期的に行なわれ、指導・助言をいただくことができた。 ○学力向上委員会やメンター研修と連携を取り、教職員の資質向上に向けた研修を行うことができた。 ○外部講師に依頼し、ICTの専門的な知識や技能の向上に向けた研修を行ったり、教職員にアンケートを行い、学級経営や学校運営における情報交換を行ったりすることができた。 ●1学期は一人1授業を行う機会がなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に計画訪問と一人1授業が予定されていることもあり、教職員のさらなる指導力向上を目指していく。 ・引き続き、専門性を生かした研修や情報交換を行い、教職員の資質向上に努める。
間小・幼保こ、連携校	こども園等との連携や小・中学校適正規模・適正配置基本計画で関連する学校との連携を強化し、義務教育学校9年間を見通した教育課程の滑らかな接続を図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保こ小連携会議と授業参観を行い、入学後の児童の様子を見てもらったり、入学前の児童の様子を聞いたりすることができた。各園の保育の方針等も知ることができた。 ○交流会で互いの学校紹介やレクを実施したことで交流を深めることができ、中学校での統合に向けて連携を図ることができた。 ●1学期には授業参観を実施することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の連携会議では次年度入学児童について情報交換を行うと共に、入学に向けて指導しておきたいことなど、学校と園で共通理解できるようにする。 ・定期的な交流ができるよう、企画する。 ・一人一授業を活用して、C4th等で積極的に授業公開をしていく。

関域・家庭・関係・連携機	PTAや公民館、区長会、地域づくり協議会をはじめ、地域の関係機関・関係団体との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	B	○職員が積極的に情報発信を進めており、また、地域や家庭もそれらをしっかりと捉えていた。 ○年度始めの忙しい中ではあったが、各担当が新しいシステムに対応し、ある程度円滑に活動につなげることができた。 ●一部学年で交流を行ったが、その情報を学年間で十分共有されていなかった。	・学年毎の差異が出ないよう、継続して取り組んでいく。 ・行事を見据えて、計画的かつ継続的に取り組んでいく。 ・中学校や近隣小学校と綿密な交流を行い、その内容や感想を他学年とも共有する。
備境教実・の育充整環	本校施設長寿命化改修に向けて、市役所関係部局との連携を密に行い、将来を見通した安全で快適な視点からの学校施設の在り方の具現化を推進する。	A	○教育に必要な物品を購入し、環境を整えることができた。 ○教室や職員室など、よく使う場所を整理整頓することができた。	・必要な物品を事前に確認し、適切に予算を活用する。 ・施設長寿命化改修に向けて、各学年や各教科の教材室を計画的に整理整頓する。

【学校全体にかかわる要望・意見に対する回答】

<p>○保護者の方への回答</p> <p>【新型コロナウイルス対応について】</p> <p>○教員の感染に関するメール配信について</p> <p>新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同じ5類に引き下げられ、インフルエンザと同様の対応を取ってまいります。</p> <p>○校内での感染確認後の教員のマスク着用について</p> <p>感染拡大のおそれがある状況になったときには、マスク着用を含め、様々な角度から感染拡大防止の手立てを講じてまいります。</p> <p>○今後の学校行事について</p> <p>今後も感染状況を踏まえ、できるかぎり子どもたちの活動の充実を図ってまいります。</p> <p>【LGBT法案等、多様性に関する指導について】</p> <p>保護者の方々には多様な考えがあると思います。今回いただいた意見は市教育委員会へ伝えました。その上で、学校では文科省、県及び市教育委員会からの指示に基づき、子どもたちの指導に当たってまいります。</p> <p>【プログラミング教育について】</p> <p>プログラミング教育は、5年算数「正多角形」、6年理科「電気の性質とその利用」で取り組んでいます。</p> <p>【給食時のエプロンについて】</p> <p>衛生面の観点からエプロンは覆う部分が多い割烹着スタイルを採用しています。</p> <p>【タブレットの持ち帰りについて】</p> <p>タブレットの持ち帰りについては、負担を考慮し使用状況に応じて本校でも工夫しておりますが、タブレットの持ち帰りと併せて、持ち帰る用具類の数や回数について改めて確認してまいります。</p> <p>【アンケートの回答について】</p> <p>学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございます。 回答が難しい質問が含まれており、申し訳ありません。評価しづらい項目についてはは答えられる部分だけ構いません。また、答えづらい設問で申し訳ありません。保護者自身のお子さんのこととして回答いただけるような「聞き方」となるよう検討いたします。</p> <p>【鼓笛隊について】</p> <p>鼓笛隊は、教育課程の改訂や指導時間の関係で令和2年度より中止しております。教育課程の範囲内で子どもたちの活動の充実を図ってまいりたいと思います。</p> <p>【児童の活動について】</p> <p>2学期には、5年生以外の校外学習や修学旅行が予定されておりますので、HPにて活動の様子を発信してまいります。</p>
--

<p>【宿題について】</p> <p>学習のねらいを踏まえ、学年の発達段階に合わせて、宿題と自主学習の量を調整していきたいと考えております。</p> <p>【食育について】</p> <p>給食の時間に栄養教諭による食育指導を実施しておりますが、それぞれの学年においてどのような内容で実施できるか検討してまいります。</p> <p>【水泳指導について】</p> <p>スイミングスクール利用は、天候に左右されることなく、また夏季に限定することなく計画的に学習を行うことができるという利点があります。スイミングスクールの活用によって水泳指導の充実を図っております。</p> <p>【スクールバスについて】</p> <p>下校のスクールバスに間に合わないことがあり、ご心配をおかけして、申し訳ありません。スクールバスに十分に間に合うよう、学校全体で改めて確認し、留意してまいります。</p> <p>【体育着の長ズボン・ハーフパンツのサイズについて】</p> <p>体育着のサイズには規定があり、新たにサイズを作るのは難しい状況です。裾上げ等でお手数をおかけして申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p>【たより類の兄弟への配付について】</p> <p>基本的には「兄弟なき児童」に配付していますが、1年生には運動会終了まで全員に配付しております。ご指摘いただいた紙の節約につきましては、留意してまいりたいと思います。</p> <p>【配付物のデジタル化について】</p> <p>社会では用紙媒体からウェブ媒体へと変わってきておりますので、学校においきましても連絡メールを活用し、少しずつたより等のデジタル化を図ってまいります。</p> <p>【不審者対策について】</p> <p>防犯カメラ設置、児童登校後の門扉・1階通路の施錠を行うとともに、警察署から講師を招いて職員対象の不審者侵入時対応の実地訓練を行い、不審者に備えています。今後も引き続き対策を検討してまいります。</p> <p>【保護者面談について】</p> <p>保護者面談を今年度初めて実施いたしました。面談時の児童の待機場所の確保等、ご指摘いただいた課題に対しまして、来年度に向けて検討してまいります。</p>

<p>○地域の方への回答</p> <p>【挨拶について】</p> <p>児童数減少に伴いご自宅近くで子どもを目にする機会も限られておりますが、子どもの姿が見られましたら、できましたら皆様から子どもに挨拶などの声がけをしていただき、人生の先達として良きお手本をお示しいただけるとありがたいです。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>【アンケートについて】</p> <p>ご回答は可能な範囲で構いません。直接児童に接してのご意見だけでなく、学校のWebページの記事や画像をご覧いただき、ご意見をお寄せいただくことでも結構です。</p> <p>【環境整備へのご協力の申し出について】</p> <p>お申し出に感謝いたします。連絡を差し上げることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>【水泳授業について】</p> <p>小学校の水泳学習は各学年10時間程度となっております。本校ではスイミングスクールを利用し、学校のプールを使用しておりません。スイミングスクールを利用すると、天候に左右されることなく計画的に学習できます。プール掃除以外での児童の体験の充実を図ってまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>【生徒指導について】</p> <p>家庭や地域の皆様と協力しながら、学校全体で道徳の授業を通して善悪の判断について学ばせるとともに、望ましくない行動に対しては該当の児童への個別の指導を行うなどして、児童が健やかに育っていけるよう努めてまいります。</p> <p>【学校から保護者・地域の皆様へ】</p> <p>皆様からの激励・ご意見・ご指摘は、私たちにとって、心の支えであり、信頼される学校職員として成長する貴重な助言です。 2学期も富小の子どもたちが希望と意欲をもって毎日登校し、未来を切り拓く資質能力や態度を身に付けられるよう、教職員一同で指導・支援をしていきます。</p>
--